

平成25年度事業報告書

(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

1. 事業の状況

(1) 競技規則の制定 (定款第4条 第1項 (1))

国際競技規則の変更に伴う国内競技規則の改定・通知を実施した。

(2) 普及促進、指導者の養成 (同 第1項 (1))

マスターズ水泳の指導者・競技役員およびスイマーのための講習会を東京・愛知・大阪の3会場において開催した。

(3) 競技会の開催 (同 第1項 (2))

① 日本マスターズ水泳短水路大会

4月7日より6月2日までの期間、全国23会場にて開催した。

参加状況 25,033人 47,424種目

② 日本マスターズ水泳選手権大会 (ジャパンマスターズ2013)

7月12日より15日の期間、日本ガイシアリーナにて開催した。

参加状況 4,724人 9,671種目

③ ウーマンズ・マスターズ水泳競技大会 (ウーマンズ・スイム・フェスティバル2013)

9月21日より22日までの期間、横浜国際プールにて開催した。

参加状況 競技623チーム 2,619人 3,927種目

イベント471人

④ 日本マスターズ水泳長距離大会

10月27日、愛知・口論義運動公園屋内プール、ならびに11月2日より11月3日の期間、東京・町田市立室内プールにて開催した。

参加状況 東京会場 641人、愛知会場 229人

(この参加者のうち29名は両会場に参加)

⑤ 日本マスターズ水泳スプリント選手権大会 (ジャパンマスターズスプリント2013) を11月30日より12月1日の期間、千葉県国際総合水泳場にて開催。

参加状況 734チーム 3,410人 6,583種目

(4) 地域大会の奨励指導 (同 第1項 (2))

当協会でご承認するマスターズ大会のうち、年間9会場へ大会運営の指導を行った。

(5) 競技会及び記録の公認 (同 第1項 (3))

国内年間87大会、海外2大会の記録を公認した。

また、大会での記録140,570件を公認記録として認めた。

(6) 国際大会の開催（同 第1項（4））

一般社団法人国際マスターズ競技連合の主催による「2013国際ゴールドマスターズ京都大会（水泳競技・陸上競技）」の開催に於いて、10月5日より6日までの期間、京都アクアリーナにて水泳競技の主管団体として国際競技会を開催した。5か国286チーム 743人が1,599種目に参加した。

(7) 日本記録の公認及び世界記録の公認申請（同 第1項（5））

公認した記録のうち、世界記録を突破した記録74件、日本新記録樹立414件であった。世界記録を突破した記録は公益財団法人日本水泳連盟を通じ国際水泳連盟（FINA）に公認申請を行った。

(8) 機関紙および刊行物（同 第1項（6））

マスターズニュース（会報）を年4回発行し、登録チームならびに関係団体へ配布した。また、年間の公認記録を集計し「50傑ランキング」を刊行した。

(9) 国内外の水泳関係団体との連携協力（同 第1項（7））

- ①国外公認大会への参加者に対する日本のマスターズ水泳の登録者であることの登録証明書37枚を発行した。
- ②公益財団法人日本水泳連盟への加盟を継続した。
- ③一般社団法人日本スイミングクラブ協会主催マスターズ大会の公認ならびに協力を行った。

(10) 登録（同 第1項（8））

本年度登録2,956チーム、個人登録47,317人であった。

(11) その他（同 第1項（8））

公益法人制度改革に伴う手続きの経過

一般社団法人へ移行	平成24年4月 1日
旧法人決算	平成24年3月31日
公益目的財産額の確定	平成24年6月28日
公益目的財産額（当初）	327,906,055円
平成24年度末公益目的財産額	268,552,034円
平成25年度公益目的支出実施額	62,816,307円
平成25年度末公益目的財産額	205,735,727円

以上